

精華町の情報化の歩み

行政情報化

地域情報化

● 税務関係から委託処理開始

昭和49年

● 電子計算機自己導入(税・住基一体)
→ 情報処理適用業務の順次拡大

昭和53年

昭和59年

平成 元年

平成 4年

● 財務会計システム導入
→ 全庁型システム運用開始

平成 5年

■第三次総合計画策定

- ・情報通信網の整備促進
- ・高度情報施設の整備促進
- ・地域情報化の促進

平成 6年

平成 7年

平成 8年

■新庁舎情報センター構想

- ①地域の情報拠点を整備し、地域情報化・行政情報化を促進する
- ②情報化を通じた住民の交流拠点として機能する
- ③住民サービスの向上と地域の活性化を図る
- ④住民の情報リテラシー向上に寄与する

※学研都市建設構想起こる

● ATRオープン

※精華・西木津地区中心地「光台」まち開き

● BBCC新世代通信網実験協議会設立

● 住民票自動交付機サービス開始

→ 全国町村レベル初

※中核施設けいはんなプラザ竣工

● 株式会社キネットによるCATVサービス開始

● FMMC(財団法人マルチメディア振興センター)によるFTTH実証実験の開始

● 自動交付機サービス拡充

→ 端末増設、取扱証明書拡大

■新庁舎建設構想検討委員会

- ①21世紀の新しい時代潮流に対応した新庁舎
- ②「緑豊かな調和のとれた 学研都市精華町」にふさわしい新庁舎
- ③開かれた、親しみやすくわかりやすい新庁舎
- ④住民サービスと事務効率の向上を図れる新庁舎

■せいかネットアッププラン策定

…行政情報化・地域情報化のアクションプラン

平成10年

情報通信施策の積極的誘致活動の開始

● 情報ネットワーク整備開始
→ 旧庁舎内LAN、外部組織WAN
→ 各課一台メール環境整備

平成11年

● 各種システムのオープン化実施

→ 基幹システムのC/S化

→ インターネット接続環境の強化

※通産省先進アプリケーション基盤施設整備事業

● 各種インターネットサービス開発

※通産省生活空間創造情報システム開発事業、等

● 各種イントラ向けグループウェア自己開発

・会議室・公用車予約サービス

・スケジュール管理サービス

平成12年

新庁舎情報センターの完成(2月26日)

平成13年

● 情報ネットワークの庁内整備完成

※総務省自治体ネットワーク施設整備事業

● 職員一人一台パソコン利用環境整備完了

● 職員ICスマートログオンカード導入

● 総合窓口支援システム稼働

→ 本格的ワンストップサービスの実現

平成14年

■第四次総合計画策定

- ・情報通信基盤の整備・充実
- ・地域情報化の推進
- ・高度情報化に対応した環境の整備

● 情報セキュリティポリシー(内部規程)制定

平成15年

● 「地域づくり総務大臣表彰」の受賞

情報化によるまちづくり部門

● 公的個人認証サービス開始

平成16年

● 相楽郡4町立図書館ネットワークシステムの総合目録検索サービス開始(4月)

※郵政省広域的情報通信ネットワークモデル事業

● けいはんなギガビット・ラボオープン(4月)

● 京都ギガビット・ラボオープン(11月)

→ インターネットの普及促進(500世帯にインターネット専用端末配布)

→ システム開発環境の整備

● 株式会社キネットによるCATVインターネットサービスの開始(8月)

● 個人認証インターネットサービス開始(12月)

・インターネット公共施設予約サービス

・インターネット健康相談サービス

● 西日本電信電話株式会社による「フレッツ・ISDN」(8月)及び「フレッツ・ADSL」(秋)サービス開始

ブロードバンドインターネット環境の実現

● 地域イントラネットを活用した映像配信サービスの着手(12月サービス開始)

● 西日本電信電話株式会社による「Bフレッツ」及び株式会社ケイ・オプティコムによる「eoホームファイバー」サービス開始

● 住民基本台帳ネットワーク運用開始

● 京都デジタル疎水ネットワーク運用開始

● ITボランティア制度の整備

IT基礎講習、IT相談窓口等で活躍